NO.

008

言語 バイリンガルの脳

Two Languages, One Brain

一つの脳に二つの言語——バイリンガルの脳

英文の音声

レベル ★★★ 難関 | 298語 | 熟語13個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 Scientists have long ❶**been interested in** what happens inside the brain of a person who speaks two languages. For much of the twentieth century, many parents and teachers believed that learning two languages at once would only confuse children. That view has now largely been abandoned. To a baby's brain, it ❷**makes no difference** whether it hears one language or two; it can acquire both.

2 One key finding is that a bilingual person's two languages are never completely switched off. ❸**That is**, even while speaking only English, the brain is quietly activating words in the other language as well. To ❹**make themselves understood**, bilingual speakers must constantly select the right language and suppress the other. A monolingual speaker, ❺**by contrast**, never faces this choice. ❻**As is often the case with** bilinguals, an occasional ❼**slip of the tongue** reveals this hidden competition: a word from the other language comes out by accident.

3 This competition has its costs. Bilinguals sometimes ❽**have a hard time finding** words, and they report more often that a word is ❾**on the tip of their tongue** but will not come out. Some early studies, however, suggested that this constant mental exercise made bilinguals better at ignoring distractions. A few researchers even ❿**went so far as to** claim that speaking two languages could delay the symptoms of dementia.

4 More recent and larger studies, however, have found these advantages to be smaller than first thought, or sometimes absent. How bilinguals ⓫**differ from** monolinguals in this respect remains a lively debate.

5 What is not in doubt is the social value of two languages. Bilingual children ⓬**benefit from** access to two cultures and two ways of seeing the world. For parents raising them, the challenge is to ⓭**strike a balance between** the two languages so that neither is lost.

語注 **abandon** 捨てる・やめる **suppress** 抑える **monolingual** 一つの言語だけを話す（人）
distraction 気を散らすもの **dementia** 認知症

この英文の熟語 IDIOMS 13 個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 be interested in ~ ～に興味がある □□□
interest は「興味を持たせる」なので、人が主語なら過去分詞 interested。物が主語なら interesting。in の後ろは名詞・動名詞・疑問詞節（in what happens）。 例 *She has been interested in space since she was a child.*

2 make no difference (to ~) （～にとって）どうでもよい □□□
直訳「違いを生まない」＝「重要でない・影響しない」。It makes no difference (to me) whether ～ の形が多い。反対は make a difference（違いを生む・重要だ）。 例 *It makes no difference to me whether we go by bus or by train.*

3 that is (to say) すなわち □□□
直前の内容を言い換えて説明する目印。＝ in other words / namely。i.e. と略して書くこともある。この後ろには筆者の言いたいことの「言い換え」が来る。 例 *He is a vegan; that is, he eats no animal products.*

4 make oneself understood 自分の言うことを分かってもらう □□□
make O 過去分詞（O が～されるようにする）の形。外国語で通じるかどうかの場面で頻出。make oneself heard（自分の声を聞いてもらう）も同じ型。 例 *I couldn't make myself understood in French.*

5 by contrast それとは対照的に □□□
前の内容と正反対のことを述べる目印。＝ in contrast / on the other hand。in contrast to ~（～とは対照的に）は後ろに名詞を置く。 例 *The north is cold. The south, by contrast, is warm all year.*

6 as is often the case with ~ ～にはよくあることだが □□□
as は関係代名詞的に後ろの文全体を指す。as is usual with ~ も同じ。文法問題で as の働き（主語になっている）が問われる。 例 *As is often the case with him, he was late again.*

7 a slip of the tongue 言い間違い □□□
slip は「滑ること・ちょっとした誤り」。舌が滑って言うつもりのない言葉が出ること。a slip of the pen は「書き間違い」。 例 *I called my teacher 'Mom' by a slip of the tongue.*

8 have a hard time ~ing ～するのに苦労する □□□
＝ have difficulty (in) ～ing / have trouble ～ing。time の後ろに in を入れることもあるが、普通は入れない。to do は使わない点に注意。 例 *I had a hard time finding a place to park.*

9 on the tip of one's tongue （言葉が）喉まで出かかっている □□□
直訳「舌の先にある」。名前や単語を知っているのに思い出せない状態。日本語の「喉まで出かかっている」に当たる。 例 *Her name is on the tip of my tongue, but I can't remember it.*

10 go so far as to do ～しさえする □□□
「～するところまで行く」＝極端な行動・主張をする。go as far as to do とも言う。論説文では「～とまで主張する」の意味で、強すぎる主張を紹介するときに使う。 例 *He went so far as to call me a liar.*

11 differ from ~ ～と異なる □□□
＝ be different from ~。differ in ~（～の点で異なる）と前置詞を使い分ける。名詞 difference、形容詞 different とまとめて。 例 *Customs differ from country to country.*

12 benefit from ~ ～から利益を得る □□□
自動詞 benefit from ~（～から恩恵を受ける）と他動詞 benefit A（A のためになる）の 2 つがある。主語が「受ける側」か「与える側」かに注意。 例 *Everyone can benefit from regular exercise.*

13 strike a balance (between A and B) （A と B の）バランスをとる □□□
strike は「（釣り合いを）見つけて決める」。between work and family のように 2 つのものを並べる。find a balance とも言う。 例 *It's hard to strike a balance between work and family.*

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第 2 段落によると、バイリンガルの人が英語だけを話しているとき、脳では何が起きているか。

① もう一方の言語は完全に使われなくなっている
② 英語の単語だけが速く活性化している
③ もう一方の言語の単語もひそかに活性化している
④ 二つの言語が混ざって一つの言語になっている

問2 第 3・4 段落で述べられている内容と一致するものはどれか。

① バイリンガルは単語を思い出すのに苦労することがまったくない
② 初期の研究が示したバイリンガルの利点は、新しい研究では小さいか見られないこともあった
③ 二つの言語を話すと認知症を必ず防げることが証明された
④ 大規模な研究によって議論はすでに決着した

問3 筆者が最後の段落で疑いないと述べているものはどれか。

① 二つの言語を持つことの社会的な価値
② バイリンガルは単一言語話者より語彙が多いこと
③ 親は子どもに一つの言語だけを教えるべきこと
④ バイリンガルは注意の切り替えが必ず得意であること

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 〜に興味がある
2 （〜にとって）どうでもよい
3 すなわち
4 自分の言うことを分かってもらう
5 それとは対照的に
6 〜にはよくあることだが
7 言い間違い
8 〜するのに苦労する
9 （言葉が）喉まで出かかっている
10 〜しさえする
11 〜と異なる
12 〜から利益を得る
13 （A と B の）バランスをとる

背景知識 20 世紀前半には、二言語を同時に学ぶと知能の発達が遅れるという説もあったが、後の研究で否定された。現在では、バイリンガルの脳では二つの言語が常に同時に働いていて、使わない方を抑えながら話していると考えられている。そのため注意の切り替えが得意になる「バイリンガルの利点」が唱えられたが、近年の大規模研究では効果が小さい・見られないという結果もあり、議論が続いている。入試では「定説が見直される」流れの文章として出やすい。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 科学者は長い間、二つの言語を話す人の脳の中で何が起きているのかに**興味を持って**きた。20 世紀の大半を通じて、多くの親や教師は、二つの言語を同時に学ぶと子どもが混乱するだけだと信じていた。その考えは今ではほぼ捨てられている。赤ちゃんの脳にとっては、聞く言語が一つでも二つでも**変わりはない**。両方を身につけられるのだ。

2 重要な発見の一つは、バイリンガルの人の二つの言語は決して完全には「切られて」いないということだ。**つまり**、英語だけを話しているときでさえ、脳はひそかにもう一方の言語の単語も活性化させている。**自分の言うことを分かってもらう**ために、バイリンガルの話し手は常に正しい言語を選び、もう一方を抑えなければならない。**それとは対照的に**、一つの言語だけを話す人は、この選択に直面することがない。バイリンガル**にはよくあることだが**、時々起こる**言い間違い**がこの隠れた競争を明らかにする。もう一方の言語の単語がうっかり出てしまうのだ。

3 この競争には代償がある。バイリンガルは時々言葉を見つけるのに**苦労し**、言葉が**喉まで出かかっている**のにどうしても出てこない、という経験をより頻繁に報告する。しかし初期の研究の中には、この絶え間ない頭の運動によって、バイリンガルは気が散るものを無視するのが得意になると示すものもあった。二つの言語を話すことが認知症の症状を遅らせるかもしれないと**まで主張する**研究者もいた。

4 しかし、より新しく大規模な研究では、これらの利点は最初に考えられていたより小さい、あるいは時にはまったくないことが分かった。この点でバイリンガルが一つの言語だけを話す人とどれだけ**異なる**のかは、今も活発な議論が続いている。

5 疑う余地がないのは、二つの言語を持つことの社会的な価値だ。バイリンガルの子どもは、二つの文化と二つの世界の見方に触れられるという**恩恵を受ける**。その子を育てる親にとっての課題は、どちらの言語も失われないように、二つの言語の**バランスをとる**ことである。

要旨 バイリンガルの脳では二つの言語が常に競い合っており、言葉が出にくいなどの代償がある。認知的な利点は議論が分かれるが、二つの文化に触れられる社会的な価値は疑いようがない。

解答・解説 ANSWERS

問1 3 **問2 2** **問3 1**

問1 正解 3 根拠は第 2 段落 even while speaking only English, the brain is quietly activating words in the other language as well。英語だけを話していても、もう一方の言語の単語も活性化しているので 3 が正解。1 は two languages are never completely switched off と逆。2 は書かれていない。4 の「一つの言語になる」は、正しい言語を選び、もう一方を抑えるという記述に合わない。That is の後の言い換えに根拠がある。

問2 正解 2 根拠は第 4 段落 More recent and larger studies, however, have found these advantages to be smaller than first thought, or sometimes absent。初期研究の利点が新しい研究では小さい、または見られなかったので 2 が正解。1 は have a hard time finding words と逆。3 は一部の研究者が「遅らせるかもしれない」と主張しただけで、証明ではない（go so far as to は強すぎる主張の紹介）。4 は remains a lively debate に反する。

問3 正解 1 根拠は第 5 段落 What is not in doubt is the social value of two languages。疑いないのは社会的な価値だとはっきり述べており 1 が正解。2 の語彙の多さは本文にない。3 は親の課題は二つの言語のバランスをとってどちらも失わないこととあり逆。4 は第 4 段落で議論が続いているとされ、「必ず」とは言えない。What is not in doubt is ～ は「議論のある点」と「確かな点」を分ける重要な文。